



宝永小だより

No.7

福井市宝永小学校
令和6年6月20日

学校教育目標：ひとり立ちできる子 ～心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成～
めざす児童像：進んで学び合える子・協力し合える子・心と体を鍛える子・ふるさとを大切にできる子

4年生 浄水とごみ処理の仕組みは？ 5月27日(月)

社会科「住みよいくらしをつくる」の学習内容の理解を深めるために、「日野川浄化センター」と「福井市クリーンセンター」の見学に出かけました。子どもたちは、大事なことをメモしながら施設内を見学し、熱心に説明を聴くことができていました。下水処理とごみ処理の仕組みやその工夫について、施設を直接見学し、説明を聴くことで、知識や理解がより深まりました。



＜施設内の見学をする子どもたち＞

＜4年児童の感想＞【日野川浄化センター】初めて知ったことは、び生物を使うということです。ちょっと、へんなにおいがしましたが、反のうタンクという場所で、び生物がよごれを食べるといふことのほうがおどろいてしまいました。び生物は、さい終ちんでんちで、しずんで、また、反のうタンクにおくられて、また、よごれを食べるのくり返しだと聞きました。

＜4年児童の感想＞【福井市クリーンセンター】一番びっくりしたことは、ゴミをまぜることです。深さ16mあり、クレーンの重さは、4.35tでした。その中ですごいのは、1回でつかむゴミの重さは、2tだということを知りました。他にも、うめ立て地があと20年でいっぱいになる予そうなので、むだなゴミをふやさないよう、がんばりたいです。

その後、「水はどこから」の学習のまとめとして、限りある資源である水を守るために自分たちができることについて考えました。そして、右記のような「節水ポスター」を作成し、手洗い場やトイレ周辺に掲示しました。校外学習で学んだことをもとに、全校に発信することができました。



＜節水ポスター＞

1・2年生 生き物の観察と触れ合い 5月30日(木)



＜ミズダコに触れる子どもたち＞

1年生にとっては、初めての校外学習です。イルカショーを見たり、ペンギンの散歩を見たりすることができました。「海洋館」の「さんごの海」では、ガラス張りの水面で、海面浮遊体験をすることができました。「ふれあい館」では、海の生き物に直接触って観察することができました。新パビリオン「みずだこ館」では、世界最大種のミズダコに触れることができました。子どもたちは、それぞれのコーナーで、楽しい時間を過ごすことができました。

異学年で構成されたグループで行動する中で、2年生の子どもたちは、上級生らしく、1年生の子どもたちに優しく声をかけながら、仲良く活動することができました。

1・2年生で、越前松島水族館に行きました。

4年生 電池づくりに挑戦 5月30日(木)

理科「電流のはたらき」の学習の一環として、日本原子力研究開発機構のエネルギー教育出前授業「いろいろな電池」を実施しました。電池の発明などについて説明を聴いた後、レモンを使った電池づくりを体験しました。銅板と亜鉛板でレモンの輪切りをはさみ、少し抑えると、果汁が出て、電子メロディーが鳴り始め、電流がつくられたことを確かめることができました。その他にも、人間電池・木炭電池・マグネシウム電池等の各電池づくりを体験しました。実験の後に、使用したアルミ箔をはがして観察すると、無数の小さな穴が開いていて、アルミニウムがとけて電流がつくられたことがわかりました。一人一人に実験セットが用意されていて、各自が科学の世界に没頭した貴重な時間となりました。



＜レモン電池に挑戦する子どもたち＞

＜4年児童の感想＞身のまわりにある物で電池ができて、とてもびっくりしました。電池には、あまりきょうみがなかったけど、今日の授業できょうみがわきました。

＜4年児童の感想＞一番楽しかった実けんは、「人間も電池になる？」です。人間が電池になるなんて、はじめて知りました。マグネシウム電池は、電子メロディーが一番大きくなったので、電池になったことがよく分かりました。今日は、とても楽しかったです。

5年生 命について考えたBLS教室 5月30日(木)

保健指導の一環として、NPO法人 命のバトンの「BLS 教室 (AED を用いた一次救命処置法)」を実施しました。子どもたちは2人組になり、実際にマネキンを使用し、胸骨圧迫の体験と、AED の使い方の体験をすることができました。「命をつなぐ」ということについて、体験を通して学ぶことができました。



＜胸骨圧迫の仕方を学ぶ子どもたち＞

2年生 ドキドキ・ワクワク「まちたんけん」 6月3日(月)・7日(金)

生活科「まちたんけんに行こう」



<西本願寺福井別院の様子>

<中消防署の様子>

の学習の一環として、子どもたちは校外学習に出かけました。1回目は、松ヶ枝公園へ出かけ、2回目は、西本願寺福井別院、中消防署、福井市営体育館へ出かけました。

西本願寺福井別院では、本堂や梵鐘の説明をしていただきました。また、中消防署では、消防士の皆様の訓練を間近で見せていただいたり、消防車や救急車の内部の説明をしていただいたりしました。

宝永地区には、様々な施設があることを大変ありがたく思っています。今後も、宝永地区の良さを発見したり、地域の皆様と関わったりして、地域への愛着を深めていってほしいと願っています。

4年生 総合「やさしさいっぱい 宝永」 6月5日(水)・12日(水)

総合的な学習の時間に、子どもたちは、「福祉」についての学習を進めています。

福井市社会福祉協議会や福井中央北包括支援センター等の皆様に来ていただいて、車いす体験や高齢者体験を実施し、認知症についても学びました。

【車いす体験】 子どもたちは、車いすの使い方を学んだ後、3~4人

1組になり、介助する側とされる側を体験しました。児童玄関から段差のあるところを通り、体育館トイレに向かいました。手洗い場の使いやすさを多目的トイレの手洗い場と比較することができました。さらに、段差のあるところを通り、体育館玄関から外に出



<多目的トイレ>

<後ろ向きでスロープを下りる>

ました。そこからは、スロープを通して児童玄関に戻りました。

<車いす体験について> 私は、車いす体験をして、だんさやトイレに行くときが大へんだと思いました。だんさは1人ではこえられなくて、車いすをおす人がいても、ななめになるからこわいと思いました。トイレは、じゃ口がとどかなくて、手をあらうことができませんでした。だけど、多目的トイレは、下の方がなく、手もあらえました。でも、入り口がせまくて入りづらかったです。こんなに足の不自由な人は、大へんな生活をしているんだと知りました。

【高齢者体験】 子どもたちは、腕や足におもりなどを装着し、老眼や白内障を体験できるゴーグルをかけて、体育館を歩きました。高齢者の身体的特性を実際に体験することで、高齢者への理解を深めることができました。



<歩にくさを体験>

<高齢者体験について> 私は、高れい者体験をして、足や手などが動かしにくかったり、曲げづらかったり、目が黄色くて見にくかったりなどの、いろいろな大へんなことがあって、びっくりしました。だからこそ、道で、そういう人がいたら、やさしく、「何か、手つだえることは、ありますか?」と聞いて、お手つだいをしたいと思いました。

【認知症サポーター養成講座】 子ども

たちは、認知症になるとどうなるかや認知症の方にどのように接したらよいかなどを学びました。学校から帰って来て宿題をしていると、認知症の祖母から何度も日にちを聞かれる孫という設定で、どう対応したらよいかを考えました。授業後、子どもたちは、受講証明として、キッズサポーターカードと、手作りの「ロバ隊長」(認知症サポーターキャラバンのマスコットキャラクター)のマスコットをい



<何度も聞かれたら?>

<ロバ隊長>

いただきました。翌日から、ランドセルや水筒などの子どもたちの持ち物には、上記の写真のように、「ロバ隊長」が付けられていました。この「ロバ隊長」を見る度に、子どもたちの優しい気持ちが伝わってきます。

<認知症サポーター養成講座について> にん知しようサポーターは、手つだうことだけじゃなく、大人や近所の人に知らせることも、自分にできると思いました。にん知しようは、頭の中のさいぼうが死んでしまう病気、とてもこわい病気だと思いました。近所の人やおじいちゃん、おばあちゃんがにん知しようにもなってしまうたら、サポートをしてあげたり、助けてあげたりしたいです。また、いろいろな場所で見かけたら、「大じょうぶですか?」などの声かけをしてあげたりしたいです。高れい者の人がにん知しようになったら、何回聞かれてもやさしく答えてあげると、高れい者の人もうれしいし、わかってくれていいと思いました。

*この「宝永小だより」で紹介させていただいた皆様、子どもたちの学習活動にご協力いただき、本当にありがとうございました。学びが充実していたことは、授業後や帰校した子どもたちの表情や感想からもわかります。地域・郷土への誇りの構築のためにも、様々な教育活動を取り入れていきたいと考えています。今後とも、ご理解とご協力をお願いします。

*6月3日(月)に、教職員を対象とした救急救命講習を実施しました。今年度も、6月17日(月)のプール開きを前に、中消防署の救急隊の方をお招きし、具体的な救急救命の方法を学びました。事故の未然防止はもちろん、いざというときのために、一次救命処置である心肺蘇生法とAEDの取扱いについて実技訓練を行いました。子どもたちが楽しみにしているプール学習も、安全第一で行っていきたくと考えています。



*6月7日(金)に、教育実習が終了しました。2名の実習生が来なくなり、寂しい限りです。実習生は、この期間に、担当教員の指導のもと、3つの略案の授業と1つの細案の授業を実施しました。また、様々な教員の授業を参観したり、子どもたちを支援したりして多くの経験を積みました。子どもたちと接する中で、教職の魅力を感じ取ってくれていました。また、実習生の存在は、本校の教職員にも有意義な研修となっていました。実習生の最終日の記録には、「この実習を通して、数えきれないほど多くのことを学ぶことができた。」「今までの実習の中で、一番思い出に残る充実した4週間だった。」と記載されていました。また、丁寧なお礼状もいただきました。この2名の実習生が、教師として現場で活躍できることを願っています。

*6月11日(火)・12日(水)に、5年生の宿泊学習が無事に終了しました。芦原青年の家へ出かけ、24名全員が充実した2日間を過ごすことができました。詳しくは、次号の「宝永小だより」でお伝えします。